被爆の真実に迫る

『八月の光の中で』に反響

石炭倉庫

知られざる被爆の悲劇を描いた『八月の光の中で被爆電車の少女たち―』が八月上旬、波除の「石炭倉庫」で上演され、反響を呼びました。綾羽一紀作、あんがいおまる脚本・演出によるあんがいおまる一座スタジオ公演。

原爆に青春を奪われた女学生たちの悲劇を描いた『八月の光の中で』の一場面

―昭和二十年八月六日早朝。この日も広島電鉄家政女学校の生徒たちは紺色の乗務服を着て寮から車庫へ向かった。通勤・通学で満員の電車、それにラッシュの応援に向かう空電車も。召集で男手がなくなったため、女学生が運転を担っているのだ。同校は路面電車の運転手やバスの車掌を育てるための学校で、国語や数学の授業もあり、タイプライターやミシンも教えてくれるので人気だった。生徒は広島や島根の農山村出身者が多く、まだ子供っぽさが残る十四歳から十六歳の少女たちだった。午前八時十五分、快晴の夏空に原子爆弾が炸裂。一瞬の閃光、轟音、焦熱と共に広島の街はなくなり、女学生たちの青春も消えた―。

◆この歴史を忘れまい

少ない役者ながら、全員があの時代のあの空気に浸り切った目と語りで役を演じ切り、観る者を当時の広島へと引き込みました。大道具・小道具・照明はシンプルながら原爆の破壊力を象徴的に表現し、クラシック音楽（「月光の曲」など）の効果的な挿入は悲劇性を一層高めていました。

国を純粋に思うがゆえの少女たちの明るさと健気さ、その輝きを一瞬にして奪った原爆の非人間性に胸が抉られ、「この歴史を決して忘れてはならない」と改めて心に誓わせてくれた珠玉の舞台でした。

文化短信

●懐かしのレコード鑑賞がブームに　レトロ居酒屋として人気の「いそじ屋」で今、懐かしのレコード鑑賞が静かなブームを呼んでいる。音楽好きの客が戦後ポップスから七〇年代フォークソング、昭和歌謡からCMソングまで様々なジャンルのレコード盤を持ち寄り、店のプレーヤーでかけてもらっている。その一人で元会社員の男性（六二）（市岡）＝写真＝は「私は演歌派で、今は坂本冬美のファンです」。

が、美空ひばり、三橋美智也、春日八郎、三波春夫、村田英雄などは今でもよく聴きます。飲み友だちが持ってくる昔の洋楽もいい感じで、それらを聴くと大学の落語研究会時代を思い出します」と語っていた。同店は磯路二―一一―一八、☎六五七二―一三二七、十七～二十三時、月曜休。

●歌声喫茶が再ブレークの兆し　昭和三十～四十年代に一世を風靡した「歌声喫茶」が港区で再ブレークの兆し。その一つ「うたごえ倶楽部ねこじゃらし」には区内外から老若男女が集い、かつて大阪駅前「ともしび」を主宰した喜多陵介さんの楽しいリードで声を合わせている。この夏にはピアノ伴奏で「ビリーブ」「幸せを売る男」「サンタ・ルチア」「峠の我が家」「カチューシャ」などを次々と歌った＝写真。参加の六十代男性は「私は唱歌が好きです。昔、学生時代に梅田の歌声喫茶に何度か通ったことや、サークルで歌ったことなどを思い出します。みんなで声を合わせて歌うところが、カラオケにはない歌声喫茶の魅力ですね」。開催は毎週土曜日の十四～十六時（ワンドリンク付千円、但し第三土曜は休み）。場所は波除五―七―六（JR弁天町駅北口歩二分）。☎六五八一―八七六〇。

ライブ情報

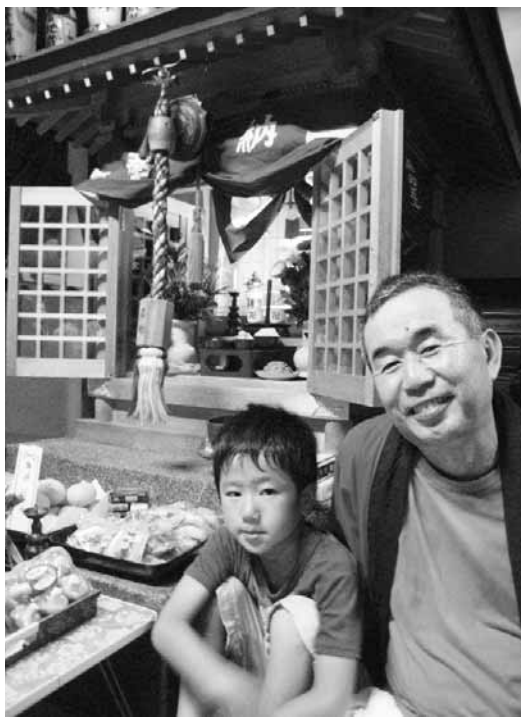
●八幡屋出身のロックドラマー桐田勝治さん　十月三日（日）十七時から江坂ミューズ（地下鉄江坂☎六三八七―〇二〇三）で所属バンド「ガーゴイル」演奏会。

●三先のフォーク歌手ペドロさん　八月十日、心斎橋ロージーでのライブに作曲家・馬場孝幸さんが参入＝写真（右が馬場さん、左がペドロさん）。馬場さんは哀川翔に提供した歌など五曲を、ペドロさんは「湊町ブルース」などオリジナル三曲をギターで弾き語った。

●八幡屋在住のシンガーソングライター山口ももえさん　九月十九日（日）十九時からJR大正駅周辺八店舗で開催の音楽祭出演（☎六五五四―八八三三POWW）▽九月二十五日（土）十九時から雲州堂（地下鉄北浜）で開催のイベント出演（予約制）▽十月二日（土）みなと秋まつり（3面に案内）のライブ出演▽十月二日（土）二十時からパルチザン（中央区西心斎橋）で投げ銭ライブ出演。

●市岡元町在住の音楽ユニット「花☆キャラ」　十月二日（土）みなと秋まつり（3面に案内）のライブ出演▽十月九日（土）元町ミュージックウィーク出演▽十月十日（日）御堂筋KAPPOに出演。kao_hanakyara@yahoo.co.jp

みなとの技を訪ねて



自身が手がけた「北向地蔵尊」の前で地蔵盆の夜に孫と。地域の風習を支える喜びが技に磨きをかける

宮大工

神祭具製作
ミナミ木工
南浩二郎さん
（田中3丁目、58歳）

地域の風習支える喜び

「歴史に残る大建築」の夢も

<〈下〉>

寺社の建築・修繕などを手がける宮大工。その中で南さんは「雛宮大工」として神殿、神壇、雪洞などの神具全般を製作してきました。前号ではその仕事の概要（独特の制約の中で伝統の事への思いを訊きました。

◆住み込みから独立へ

南さんは岡山県に生まれ、三歳で港区に越してきました。物づくりが好きだったので、中学を卒業して市内の神具製作所に住み込み、技術を身に付ける道を選びました。そこでは手取り足取りの指導などなく、先輩の仕事ぶりから「目で技を盗んだ」といいます。

やがて通いになり、二十二歳で結婚もし、「自分でもよう頑張ったと思える十年」が過ぎた頃にはトップ職人になっていました。平成四年に四十歳で独立。不安もありましたが、関連業者がみな協力してくれたお陰で何とか軌道に乗せられたといいます。

◆使い込まれて喜ばれ

仕事の中で嬉しいのは、やはり納品先からの喜びの声。家庭用神壇を納めて十年ほど経った頃、「毎日米糠で磨いていたら飴色の何とも言えない色艶になりました。いい材料で丁寧に作って頂いたお陰です」と言われた時には、その人への感謝と作品への思いで胸が一杯になったそうです。

今一つの喜びは地域との関わりから。例えば自分が町会長をしている田中三丁目では三年前に通称「北向地蔵」の御堂の新築を手がけましたが、毎朝その前で掌を合わせる人や、地蔵盆の供え物で溢れた様子などを見ると、「自分の技術が地域の風習を支えている」と実感され、仕事にも一層力が籠るといいます。

◆神々しい光景に遭遇

そうした中で生涯忘れられない体験が南さんにはあります。神明造の神殿を納品した平成十三年のこと。それは最上の材料、気品ある姿、それに格天井（角材を格子に組んで裏に板を張った天井）など見えない部分にも持てる技を注ぎ込んだ入魂の大作（約三㍍立方）でした。その完成式典が行なわれた小高い山の上で昼前、突然何万匹もの天道虫が秋晴れの空を覆ったのです。「神々しい」といった表現がぴったりの光景でした。参列者はみな驚いていましたが、南さんは「天道虫が神さんを運んで来てくれた」と直感しました。そしてそれ以来、「神さんはいたはる」との思いを一層強くしたといいます。

◆神を意識する所を

そんな体験もあって南さんが今強く思うのは「家の中に一つでも神さんを意識する所を作ってほしい」ということ。「銭金第一でますます心の拠り所が無くなっていく中、信仰心というものがあった方が絶対ええ国になると思うんですが…」。

これといった趣味はなく、「好きで入ったこの道。仕事が趣味みたいなもん」と笑う南さん。最後に今後の夢を問うと―。「雛宮大工の枠を超えて神社建築などの大きな仕事をしてみたい、銭金抜きで歴史に残る建造物を手がけてみたい、そんな気持ちはいつも持っています」。穏やかな目が一瞬きらりと光りました。

ミナミ木工　田中三―三一―二、☎六五七三―九二二五

携帯電話
au 新規50才以上の方 0～5250円 ポッキリ
日本の文具は品質世界一！
いいモノはけっきょくお得なんです。
八幡屋1-16-2 八幡屋商店街 光文具 ☎6571-4662 お電話下さい

からだの芯まで温めてコリを改善！
びわきゅう
冷え症・血行不良・背筋・肩こり・腰痛・ストレス 他
上半身40分4000円 初回のみ半額！ 下半身40分4000円
びわきゅう 三輪 ☎090-9052-3728
田中1-4-7 東田中公園の北 10:00～19:00 ㊡休み

ちょっぴりレトロな ほっこり居酒屋
いそじ屋
仕事帰りにおひとりで！
みんなでワイワイ！
大好評！明石焼きはじめました
カップルや女性の方もお気軽に！
営業時間
17:00～ 23:00
（ラストオーダー22:30）
定休日 月曜
大阪市港区磯路2-11-18
☎ 06 6572-1327

土曜の午後は
うたごえ喫茶
弁天町駅前 ねこじゃらし
♪14:00～16:00
♪1ドリンク付1000円
♪港区波除5-7-6
☎06-6581-8760
※ただし9/18は休みます
JR環状線 国道43号線 JR弁天町駅 交通科学館 オーク ローソン セブンイレブン 波除小 駐車場 地下鉄弁天町駅 中央大通り

本のことなら…
㈱オリオン書房
港区全域配達！ 電話かFAXでご注文下さい
八幡屋2-6-101 南朝潮コーポ商店街 TEL FAX 6571-2204

シャンソン喫茶 ガットネロへ
港区のシャンソン歌手・松浦由美子のお店。毎月第1㊎19時「クラシックカフェ」、最終㊎19時「はなまるカフェ」など楽しい企画一杯！
天王寺区上本町6-2-37-2F ☎6767-0012
http://www010.upp.so-net.ne.jp/gatto-nero/

500円 おすすめ弁当 11時～13時 売切御免！
栄養もボリュームも満点！（みそ汁つき）
★3,000円以上配達OK（2時間以上前予約）
ママクック 夕凪店 営7:30～13:30、17:00～19:30 磯路3-26-6 ☎6575-0800